

NACSIS-CAT/ILL

ニュースレター

Contents

- | | |
|---|----|
| 1. NACSIS-CAT/ILL システムリプレイスに伴うサービス停止について | 2 |
| 2. システムリプレイスに伴う業務用目録システムの接続先変更について | 3 |
| 3. Windows Vista 等でのクライアント利用への CAT/ILL サーバの本対策について | 4 |
| (NACSIS-CAT) | |
| 4. 所蔵レコードにおける VOL 表示 (Webcat Plus との関係) について | 5 |
| 5. レコード調整連絡専用 FAX の設置 | 5 |
| 6. NACSIS-CAT/ILL 参加組織レコードのメンテナンスのお願い | 6 |
| 7. NII での目録品質管理 (5) | 8 |
| (NACSIS-ILL) | |
| 8. ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (平成 20 年度第 3 四半期) | 10 |
| (その他) | |
| 9. NACSIS-CAT 登録 1 億件突破記念講演会の開催 | 11 |
| 10. 平成 20 年度 NACSIS-CAT/ILL ワークショップの実施報告 | 12 |
| 11. 平成 20 年度目録システム /ILL システム講習会の実施報告 | 13 |
| 12. 会議開催報告 (平成 20 年 10 月～平成 21 年 1 月) | 14 |
| 13. お詫びと訂正 | 16 |



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号
学術コンテンツ課

NACSIS-CAT 担当…………… Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

NACSIS-ILL 担当…………… Tel:03-4212-2320 Fax: 同 上

基盤企画課

システム管理担当 …… Tel:03-4212-2220 Fax:03-4212-2230

教育研修事業担当 …… Tel:03-4212-2177 Fax: 同 上

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

NACSIS-CAT/ILL システムリプレイスに伴うサービス停止について

NACSIS-CAT/ILL システムリプレイスに伴い、サービス停止の予告をしていましたが、以下のとおり停止期間が決定しましたので、お知らせします。

●業務用目録所在情報システム

平成 21 年 3 月 21 日 (土) 終日停止

※日・祝日の通常停止を含めると、

平成 21 年 3 月 19 日 (木) 20:00～平成 21 年 3 月 23 日 (月) 9:00
の間停止

●教育用目録所在情報システム

通常運用

※教育用の通常停止、

平成 21 年 3 月 19 日 (木) 18:00～平成 21 年 3 月 23 日 (月) 9:00
の間停止

●Webcat・検索専用システム

平成 21 年 3 月 20 日 (金) 0:00～平成 21 年 3 月 22 日 (日) 24:00 の間停止

各 MARC の更新は、3 月 2 日 (月) ～4 月 3 日 (金) の間停止いたします。

なお、4 月 6 日 (月) 以降、この更新停止期間中に発行された MARC も含めて順次更新します。

URL : <http://www.nii.ac.jp/syskan/maintenance.html>

(基盤企画課連携システムチーム)

システムリプレイスに伴う業務用目録システムの接続先変更について

平成21年3月23日(月)から新システムでの運用を開始します。その際、本誌5号(2001.12.20)「新CAT/ILLシステムのレスポンス対策」の「3. 注意事項」でお知らせしておりましたエラーの対策を行います。つきましては、このエラーに対応して接続先を変更していた参加館におかれましては、平成21年3月23日(月)以降、通常の接続先に設定を変更していただきますようお願いいたします。エラー対応の接続先は、状況確認のうえ、廃止する予定です。

なお、システムリプレイス後に、通常の接続先で業務用目録システムを御利用になれない場合は、下記問い合わせ先に御連絡ください。

業務用サーバ接続先 : cat2.nii.ac.jp

設定を変更していただきたい方 : cat2-d.nii.ac.jp または IP アドレスで接続先を設定している方

問い合わせ先

基盤企画課連携システムチーム sys-desk@nii.ac.jp

もしくは、学術コンテンツ課 CAT/ILL 担当 catadm@nii.ac.jp

(基盤企画課連携システムチーム)

Windows Vista 等でのクライアント利用への CAT/ILL サーバの本対策について

本誌 23 号 (2008.2.29) にてお知らせしましたとおり、「Windows Vista 等でのクライアント利用への CAT/ILL サーバの本対策」の業務用・検索用サーバへの適用につきまして、一部仕様の問題点により延期しておりましたが、下記のとおり、仕様変更を行った上で実施しますのでお知らせします。現在 UTF8 インタフェースの参加館の方は、下記のとおり、Vista で追加された漢字等が UCS 外字になる以外は、現状のまま利用可能です。

変更仕様 (実施時期:平成 21 年 3 月 23 日 (月) から)

| インタフェース | サポート対象文字集合 | | |
|---------------|---|--|--|
| JIS7 | ASCII JISX0201 JISX0208:1978 | JISX0208:1983 JISX0212:1990 JISX0213:2000(1 面) | JISX0213:2000(2 面) JISX0213:2004(1 面) EXC 文字 |
| | * 出力返答に含まれる JISX0213, JISX0212 の文字集合は、UCS 外字で表現 | | |
| ISO2022JP | ASCII JISX0201 JISX0208:1978 | JISX0208:1983 JISX0212:1990 JISX0213:2000(1 面) | JISX0213:2000(2 面) JISX0213:2004(1 面) |
| | * 出力返答に含まれる JISX0213, JISX0212 の文字集合は、UCS 外字で表現 | | |
| UTF8 | UCS-2 * 出力返答に含まれる UTF-8 上で 4 バイトとなる文字集合は、UCS 外字で表現 | | |
| UTF8E (新規) | UCS-2 (従来の UTF8 に、UTF-8 上 1 文字 4 バイトとなる文字のうち、UTF-16 のコード範囲の文字を追加) | | |
| GB/GBK | チェックは行わない(現行どおり) | | |

※ UCS 外字:UTF-8 上で 4 バイトとなる文字の UCS 外字上の表記は、サロゲートペア 2 つ分の
◆Unnn◆◆Unnn◆ の形式で表現する。

平成 21 年 3 月 13 日 (金) まで、上記仕様でのテストサーバを公開します。

詳細については、(<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/system/vista.html>) を御覧ください。

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

所蔵レコードにおける VOL 表示 (Webcat Plus との関係) について

「自館で所蔵していない巻次が, Webcat では表示されないのに, Webcat Plus では所蔵しているように見える」とのお問い合わせがあります。

Webcat Plus では, 所蔵レコードに存在する VOL フィールド情報を全て表示しています。Webcat Plus で所蔵していない VOL を表示させないためには, NACSIS-CAT で VOL フィールドを削除する必要があります。

Webcat Plus で所蔵していない VOL を表示させないことを御希望の参加館におかれましては, 所蔵レコードの所蔵していない VOL フィールドの削除をお願いします。

参考:

- ・「オンライン・システム・ニュースレター」70号

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl/nl-70-08.html>

- ・「ILL システム操作マニュアル第5版」

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/ILL/MAN5/ILL5/04/04_03.html

(NACSIS-CAT 担当)

レコード調整連絡専用 FAX 番号の設置

本誌 24 号 (2008.6.30) でもお知らせしましたとおり, レコード調整連絡専用の FAX 番号を設置しておりますので, 再度お知らせします。以下の事項に関する FAX での御連絡は, 「03-4212-2382」宛をお願いします。

- ・ 雑誌書誌に関する報告 (情報源の送付等)
- ・ レコード調整に関する質問, 報告 (図書・雑誌とも)
- ・ Q&A DB への質問登録に付随する連絡 (情報源送付等)
- ・ 重複レコードの報告, 図書書誌レコードの修正報告に付随する連絡 (情報源送付等)

(NACSIS-CAT 担当)

NACSIS-CAT/ILL 参加組織レコードのメンテナンスのお願い

NACSIS-CAT/ILL の参加組織レコードは、自館のサービス状況、所在地、目録・ILL の担当者、担当者連絡先、レンディング・ポリシー等を他館にお知らせするための重要なレコードです。参加組織レコードが最新の情報に更新されているかどうか、定期的に確認をお願いします。

1. 図書館名（参加組織名称）は正しいですか？
2. 住所、電話番号、FAX 番号、目録、ILL、システムの担当者、担当者連絡先（電話番号、FAX 番号、メールアドレス）は最新のデータになっていますか？
3. レンディングポリシー（利用条件等）は最新情報になっていますか？
4. 英語名称、英語のレンディング・ポリシーは記入されていますか？

情報が古いまま、もしくは未記入の場合は、下記を参考にして参加組織レコードを更新してください。

1) 図書館名の変更方法

図書館名（参加組織名称）が変更になった場合は、名称変更の手続きをする必要があります。下記申請書に、公印を押印の上、郵送してください。

- ◆ 目録所在情報サービス利用申請書

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/join/shinsei.html>

2) 住所、電話番号、FAX 番号、担当者、担当者連絡先の変更方法

これらの情報は、各参加館で更新することができます。下記のマニュアルを参考にして、自館の参加組織レコードを更新してください。

- ◆ 目録システム利用マニュアル第 5 版「4.8.2 参加組織レコードを修正する」

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/MAN5/CAT5/4_8_2.html

- ◆ ILL システム操作マニュアル第 6 版「9.2 自館の参加組織レコードを更新する」

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/manuals/ill6/9_2.html

なお、参加組織レコード内の以下のフィールドは記入必須の項目です。必ず記入してください。

- CATDPT (目録担当部局名)
- CATTEL (目録担当電話番号 (内線))
- CATFAX (目録担当 FAX 番号)
- EMAIL (E-mail アドレス)

また、内容に変更があった場合は、忘れずに更新してください。

3) レンディング・ポリシーの変更方法

レンディング・ポリシーも各参加館で更新することができます。「ILL システム操作マニュアル 第6版」を参照して、最新の情報に更新してください。

レンディング・ポリシーを NACSIS Webcat, Webcat Plus 上で表示するには、「POLICY」のフィールドに導入句「WEBPOLICY:」をつけて各項目を入力する必要があります。記入例は ILL システム操作マニュアルや本誌 5 号 (2001.12.20) の記事を参照してください。

◆ 参加組織レコードへの Webcat 表示情報の入力

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl2/No5/0514.htm>

4) 英語名, 英語のレンディング・ポリシーの記入方法

現在, 参加組織レコード内には, 英語の参加組織名称を記入する項目がありません。NACSIS Webcat, Webcat Plus 上で英語の参加組織名称を表示する場合は, レンディング・ポリシーに下記の例のように記入する必要があります。

例 : POLICY:WEBPOLICY:National Institute of Informatics (NII)

グローバル ILL (日米, 日韓 ILL) 参加館は, 次の点にも御注意ください。

OCLC, KERIS 側の参加館は, NACSIS-ILL 参加館のレンディング・ポリシーを NACSIS Webcat, Webcat Plus の参加組織画面で参照しています。そのため, OCLC, KERIS との ILL 業務を行う際には, 所定の項目を入力しておく必要があります。

記入必須の項目に関しては, 下記のマニュアルを参照してください。

◆ ILL システム操作マニュアル ISO ILL プロトコル対応第 2 版「2.2.4 レンディング・ポリシーの追加」

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/manuals/iso2/2_2_4.html

◆ レンディング・ポリシーの記載方法 (日米・日韓共通) (GIF サイト)

URL : http://wwwsoc.nii.ac.jp/gif/materials/general/lending_policy_sample.pdf

日米 ILL に参加している図書館の場合は, 参加組織レコードの更新作業は ISO ILL 対応のクライアントで行ってください。ISO ILL 非対応のクライアントで更新するとエラーになりますので御注意ください。

図書館の業務を円滑に行うために, 定期的に参加組織レコードのメンテナンスを実施するようお願いいたします。

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

NII での目録品質管理 (5)

目録品質管理の実際を紹介する第5回は、NACSIS-CATでの雑誌関係の懸案事項について御紹介します。

事例1) 順序付けを持たない雑誌の別冊の取扱い

『現代のエスプリ別冊』のように、刊行の順序を表す番号付けを持たず、従属タイトル単位では継続して刊行されない資料があります。これらの資料には巻号や年月次に相当するものがないため、VLYRの記述に出版年を代用するという無理が生じるだけでなく、1冊で完結している書誌が多数できてしまうこととなります(図1参照)。今後、以下の2件については、雑誌ファイルには登録せず、図書ファイルへの登録をお願いします。

- 「現代のエスプリ. 別冊」
- 「国文学解釈と鑑賞. 別冊」

ただし独自の巻号を持つものはこの限りではありません。なお、既に雑誌ファイルに登録されている書誌レコードについては、相当数の所蔵レコードがリンクされていることもあり、原則として調整は行いません。

雑誌書誌簡略一覧(業務用サーバ)

検索結果 69 件

1. SERIAL <AA11157520> 現代のエスプリ. 別冊, 人格障害. - 1997 (1997).
2. SERIAL <AA11157531> 現代のエスプリ. 別冊, 看護と介護の人間関係. - 1997 (1997).
3. SERIAL <AA11228221> 現代のエスプリ. 別冊, 文学に現れた遺書. 遺言. - 1998 (1998).
4. SERIAL <AA11228298> 現代のエスプリ. 別冊, 臨床心理学シリーズ. - 1 (1998).
5. SERIAL <AA11279710> 現代のエスプリ. 別冊, 社会心理学事典. - 1982 (1982)-1982 (1982).
6. SERIAL <AA11332019> 現代のエスプリ. 別冊, 現代のストレス. シリーズ. - 1 (1999).
7. SERIAL <AA11389060> 現代のエスプリ. 別冊, 流石. うわさ. そして情報: うわさの研究集大成. - 1999 (1999).
8. SERIAL <AA11402442> 現代のエスプリ. 別冊, 実験動作学: からだを動かすこころの仕組み. - 2000 (2000).
9. SERIAL <AA11424977> 現代のエスプリ. 別冊, 臨床心理士によるスクールカウンセラー. 実際と展望. - 2000 (2000).
10. SERIAL <AA11437822> 現代のエスプリ. 別冊, ヒューマン. ケア心理学シリーズ. - 2000 (2000).

Page: 1 2 3 4 5 6 7

図1. 「現代のエスプリ 別冊」の検索結果

事例 2) NOTE フィールドに記述した変遷注記

変遷注記 (BHNT) フィールドの記録は、各参加組織からの「変遷注記用データシート」による報告に基づき、NII で行っています。NII によって BHNT フィールドが記録されるまでの間、補助的に NOTE フィールドにタイトル変遷に関する注記を記録することができます (コーディングマニュアル 6.2.7 NOTE F2.2)。

NOTE フィールドに変遷注記を記録した場合は、変遷報告も NII にお送りください。変遷報告が届かない限り、NII で BHNT フィールドへの記録ができません。その場合、NOTE フィールドのタイトル変遷注記が残ってしまいます。総合目録データベースの品質向上のため、「変遷注記用データシート」による報告に御協力ください。

事例 3) 雑誌所蔵自動アップロード機能による総合目録データベースの品質低下

最近、多くの図書館システムは、雑誌のチェックインデータを元にした NACSIS-CAT の所蔵データ自動アップロード機能を備えています。これにより、雑誌の所蔵更新作業は大いに省力化されていますが、オンラインによる個別作業に比べ、登録時の確認が不十分な点も報告されています。

具体的には、書誌レコードの VLYR フィールドと一致しない所蔵年次・巻次情報の登録や、本来所蔵を登録してはいけない「削除予定レコード」に対する所蔵登録などが発生しています。これらのことも総合目録データベースの品質低下に繋がりますので、アップロード作業後の確認作業をお願いします。

事例 4) 雑誌の私家複製版の取扱い

資料保存等の観点から、各図書館が所蔵雑誌をマイクロ化・電子化し、いわゆる私家複製版を利用者に提供することがあります。

雑誌の私家複製版については、それ自体が刊行を目的としていないことから、NACSIS-CAT では個別の書誌レコードの作成は行いません。

私家複製版を所蔵登録する際には、原本の書誌レコードに対して所蔵登録を行い、所蔵レコードの LDF フィールドに複製資料である旨や利用条件等を記録してください。

ただし、頒布目的で複製した資料の場合は、別書誌レコードの作成が可能です。

(NACSIS-CAT 担当)

ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (平成 20 年度第 3 四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの処理状況は、以下のとおりです。

■ 平成 20 年度第 3 四半期 (平成 20 年 10 月～12 月)

- ・利用機関数：758 (※ 債務，債権ともに発生しなかった機関は 2 機関)
- ・処理対象 ILL レコード件数：263,855 (NACSIS-ILL 総レコード件数：292,977)

| | | 対債務機関 | 対債権機関 |
|--------------|----------|------------|--------------|
| 機関数 | | 441 | 315※ |
| NII の請求額/支払額 | | 26,453,510 | ▲26,384,715※ |
| 内 訳 | 相殺金額 | 26,444,140 | ▲26,444,140 |
| | 運営費 (税込) | 9,450 | 9,450 |
| | 前期債権繰越額 | ▲80 | ▲1,880 |
| | 振込手数料 | --- | 51,855 |

※対債権機関の機関数，NII の支払額には次期繰越分(9 機関，3,970 円)が含まれています。

(NACSIS-ILL 担当)

NACSIS-CAT 登録 1 億件突破記念講演会の開催報告

平成 20 年 7 月に NACSIS-CAT の所蔵登録件数が 1 億件を突破したことを記念して、平成 21 年 2 月 6 日（金）に、一橋記念講堂において「NACSIS-CAT 登録 1 億件突破記念講演会 共に創り、共に育てる知のインフラ ～NACSIS-CAT の軌跡と展望～」を開催しました。当日は、全国から大学の図書館職員、教員、一般の方等、241 名の参加がありました。

当日のプログラムは、次のとおりです。

| 内容 | 講演者 |
|------------------------------|--|
| 開会挨拶 | 坂内 正夫（国立情報学研究所長） |
| 来賓挨拶 | 舟橋 徹 氏（文部科学省研究振興局情報課長） 西村 靖敬 氏（国公立大学図書館協力委員会委員長 ／千葉大学附属図書館長） |
| NACSIS-CAT の歩み紹介 | 安達 淳（国立情報学研究所学術基盤推進部長） |
| 学術情報システム構想の出発点 | 遠山 敦子氏（財団法人新国立劇場運営財団理事長） |
| 学術情報システム ー書誌ユーティリティの誕生と軌跡 | 雨森 弘行 氏（お茶の水女子大学参与） |
| NACSIS-CAT 奮闘記 | 石井 保廣 氏（別府大学文学部教授） |
| 次世代目録所在情報サービスの方向性 | 佐藤 義則 氏（東北学院大学文学部教授） |

なお、後日講演会記録集を発行し、全国の目録所在情報サービス参加機関にお送りする予定です。

(NACSIS-CAT 担当)

平成20年度 NACSIS-CAT/ILL ワークショップの実施報告

「NACSIS-CAT/ILL ワークショップ」を、平成20年12月3日(水)～5日(金)に開催しました。2回目の開催となる今年度の研修では、NACSIS-CAT/ILLにおける「目録業務のマネジメント」に関する課題を有した15名の受講者が3日間の集中討議を行うことにより、その現状や将来像を改めて考える機会とすると共に、今後の業務に活かしていくことを目的としました。

受講者は、講師から講義及び事例報告を受けると共に、4つのグループに分かれ、「スキル継承」や「外部委託」といった課題に対する問題提起や改善案の作成に取り組みました。最終日には、各グループが発表を行い、今後の業務につながる成果を確認しました。

◆ 講義内容

| 講義名 | 講師 |
|--|---|
| NACSIS-CAT/ILL の理念 | 小西 和信 (武蔵野大学 文学部日本語・日本文学科教授) |
| NACSIS-CAT/ILL の現状 | 細川 聖二 (国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課専門員) |
| 目録業務におけるスキル継承への 取り組み | 矢崎 美香 (九州共立大学附属図書館 業務課主査) |
| お茶の水女子大学における 遡及入力プロジェクト (事例報告) ～遡及入力は目的か?～ | 茂出木 理子 (お茶の水女子大学 図書・情報チームリーダー) |
| 受託の視点から見た目録業務 マネジメント | 長澤 正樹 ((株)図書館流通センター 学術情報ソリューション部長代理) |
| OCLC における目録業務の体制・管理 | 牧野 順子 ((株)紀伊國屋書店 OCLC センター課長代理) |

◆ 発表内容

| 発表タイトル | 受講者 |
|----------------------------------|---|
| 目録イメージアップ大作戦～ 大学経営陣のハートをワシヅカミ | 石井 じゅん (首都大学東京) 勝本 加奈子 (東北大学) 鈴木 恵津子 (東京家政大学) 椋 毛 希 ((財)北九州産業学術推進機構) |
| 和漢古書・特殊言語資料入力における スキルの確保 | 一戸 佳織 (北海道大学) 高城 雅恵 (大阪大学) 手代 絹子 (東京大学) |
| 人材教育とスキル継承について | 柏木 規子 (藤女子大学) 徳元 美智子 (九州大学) 松濱 純美 (昭和音楽大学) 水谷 江美子 (九州ルーテル学院大学) |
| 理想の外部委託 | 佐藤 まさ子 (千葉県立衛生短期大学) 澤田 裕子 (日本貿易振興機構アジア経済研究所) 西野 明子 (国際日本文化研究センター) 山田 智美 (岡山大学) |

講義資料、受講者の成果物等は、教育研修事業ウェブサイトで公開しています。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/>

(教育研修事業担当)

平成 20 年度目録システム/ILL システム講習会の実施報告

平成 20 年度の目録システム/ILL システム講習会を、下記のとおり実施しました。

今年度からは、e-Learning 型「NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材」での事前学習と修得テスト合格を集合研修（会場での講義・実習）の受講条件とした講習会の実施を開始しました。これにより、「集合研修での講義内容が理解しやすかった」など、受講者の方からも好評をいただきました。

| 講習会名 | 回 数 | | 修了者数 |
|----------------------|--------|------|-------|
| 目録システム講習会 (図書コース) | NII 会場 | 6 回 | 358 名 |
| | 地域会場 | 8 回 | |
| 目録システム講習会 (雑誌コース) | NII 会場 | 3 回 | 200 名 |
| | 地域会場 | 5 回 | |
| ILL システム講習会 | NII 会場 | 5 回 | 182 名 |
| | 地域会場 | 1 回 | |
| 合計 | | 28 回 | 740 名 |

平成 21 年度は、引き続きセルフラーニング教材での学習の併用を行い、また各地域の大学との連携も図りながら、更に効果的な講習会を実施します。

また、セルフラーニング教材は利用申込をしていただくことにより、どなたでも御利用になります。詳細はウェブサイトにて御案内していますので、ぜひ御覧ください。

| |
|--|
| 教育研修事業ウェブサイト URL : http://www.nii.ac.jp/hrd/ |
|--|

講習会開催に係る情報は、「平成 21 年度教育研修事業要綱」として 4 月に各機関宛に冊子をお送りするとともに、上記教育研修事業ウェブサイトでもお知らせします。

(教育研修事業担当)

会議開催報告 (平成20年10月～平成21年1月)

●学術コンテンツ運営・連携本部

平成20年度第2回

[日時] 平成20年12月3日(水) 13:30-15:30

[場所] 国立情報学研究所 22階 会議室

- [議事]
1. 前回議事要旨案について
 2. 総合目録データベース遡及入力事業平成21年度実施について
 3. 学術機関リポジトリ構築連携支援事業 第1期報告書について
 4. 学術コンテンツ基盤共同構築事業の最近の活動状況について
 5. 今後の学術コンテンツ基盤の方向性について
 6. その他

●図書館連携作業部会

平成20年度第2回

[日時] 平成20年10月3日(金) 10:00-12:30

[場所] 国立情報学研究所 20階 講義室1・2

- [議事]
1. 前回議事要旨案について
 2. 総合目録データベース遡及入力事業平成21年度公募要項について
 3. 学術機関リポジトリ構築連携支援事業 第1期報告書について
 4. 今後の学術コンテンツ基盤の方向性について
 5. その他

●次世代目録ワーキンググループ

平成20年度第2回

[日時] 平成20年10月24日(金) 10:00-12:00

[場所] 国立情報学研究所 20階 講義室1

- [議事]
1. 前回議事要旨案について
 2. 最終報告作成について
 3. 第3期遡及入力事業の方針について
 4. その他

●電子情報資源管理システム (ERMS) 実証実験会議

平成 20 年度第 2 回

[日時] 平成 20 年 12 月 18 日 (水) 10:00-12:00

[場所] 国立情報学研究所 20 階 ミーティングルーム

- [議事]
1. 平成 20 年度 ERMS 実証実験の状況報告
 2. 平成 20 年度 ERMS 実証実験報告書について
 3. 平成 21 年度 ERMS 実証実験について
 4. その他

お詫びと訂正

ILLシステム操作マニュアル ISO ILL プロトコル対応 第2版とグローバル ILL(ISO ILL プロトコル対応)状態遷移図に、下記のとおり誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

■ ILLシステム操作マニュアル ISO ILL プロトコル対応 第2版

| | | | |
|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|
| 第3章 日米依頼館業務 3.5 資料が到着する (p. 31) | | | |
| ■状態遷移 | | | |
| 誤 | 遷移種別 | 状態遷移 (RECEIVE) | システム処理 (OCLC 送信) |
| | ILL 状態遷移 | 「発送」 → 「到着処理中」 | － (処理なし) |
| | ISO 状態遷移 | 「SHIPPED」 → 「SHIPPED」 | － (処理なし) |
| 正 | 複写業務 | | |
| | 遷移種別 | 状態遷移 (RECEIVE) | システム処理 (OCLC 送信) 後 |
| | ILL 状態遷移 | 「発送」 → 「到着処理中」 | そのまま |
| | ISO 状態遷移 | 「SHIPPED」 → 「SHIPPED」 | → 「RECEIVED」 |
| | 貸借業務 | | |
| | 遷移種別 | 状態遷移 (RECEIVE) | システム処理 (OCLC 送信) |
| ILL 状態遷移 | 「発送」 → 「到着処理中」 | － (処理なし) | |
| ISO 状態遷移 | 「SHIPPED」 → 「SHIPPED」 | － (処理なし) | |

- SHIPPED から RECEIVED への ISO 状態遷移は、複写においては RECEIVE コマンド発行後のシステム処理時、貸借においては BORROW コマンド発行後のシステム処理時に遷移します。

| | |
|---------------------------------|--|
| 第3章 日米依頼館業務 3.5 資料が到着する (p. 31) | |
| ■状態遷移の※以下 | |
| 誤 | ※「到着処理中」のレコードの「ISO 状態」は、一定期間後に、システム処理により、「RECEIVED」へ遷移する。 |
| 正 | ※「到着処理中」のレコードの「ISO 状態」は、複写については一定期間後に、システム処理により、「RECEIVED」へ遷移する。貸借については BORROW コマンド発行後のシステム処理により、「RECEIVED」へ遷移する。(参照: p. 33 ■状態遷移) |

- SHIPPED から RECEIVED への ISO 状態遷移は、複写においては RECEIVE コマンド発行後のシステム処理時、貸借においては BORROW コマンド発行後のシステム処理時に遷移します。

| | | | |
|---|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 第3章 日米依頼館業務 3.12 依頼を取り消す (p. 41) ■状態遷移 | | | |
| 誤 | 遷移種別 | 状態遷移 (CANCEL) | システム処理 (OCLC 送信) 後 |
| | ILL 状態遷移 | 「照会」 → 「CANCEL」 | そのまま |
| | ISO 状態遷移 | 「IDLE」 → 「IDLE」 | － (処理なし) |
| | | 「CONDITIONAL」 → 「CONDITIONAL」 | 「CONDITIONAL」 → 「NOT-SUPPLIED」 |
| | 「NOT-SUPPLIED」 → 「NOT-SUPPLIED」 | － (処理なし) | |
| 照会(IDLE), 照会(NOT-SUPPLIED)から CANCEL | | | |
| 正 | 遷移種別 | 状態遷移 (CANCEL) | システム処理 (OCLC 送信) |
| | ILL 状態遷移 | 「照会」 → 「CANCEL」 | － (処理なし) |
| | ISO 状態遷移 | 「IDLE」 → 「IDLE」 | － (処理なし) |
| | | NOT-SUPPLIED」 → 「NOT-SUPPLIED」 | － (処理なし) |
| 照会(CONDITIONAL)から CANCEL | | | |
| 正 | 遷移種別 | 状態遷移 (CANCEL) | システム処理 (OCLC 送信) 後 |
| | ILL 状態遷移 | 「照会」 → 「CANCEL」 | そのまま |
| | ISO 状態遷移 | 「CONDITIONAL」 → 「CONDITIONAL」 | 「CONDITIONAL」 → 「NOT-SUPPLIED」 |

- 照会(IDLE), 照会(NOT-SUPPLIED)から CANCEL に状態遷移した場合, OCLC への送信処理はありません。

| | |
|--|-------------------|
| 第3章 日米依頼館業務 3.20 転送エラーのレコードを修正して再依頼する(2) (p. 48) ■操作例 2 | |
| 誤 | レコード状態は「回答待」になる。 |
| 正 | レコード状態は「更新請求」になる。 |

- 表記ミスによる修正です。

| | |
|---|-----------------|
| 第3章 日米依頼館業務 3.20 転送エラーのレコードを修正して再依頼する(2) (p. 48) ■操作例 2 の図 | |
| 誤 | <LA00****> 回答待 |
| 正 | <LA00****> 更新請求 |

- 表記ミスによる修正です。

| | |
|---|----|
| 第3章 日米依頼館業務 3.21 レコードの状態を戻す (p. 49) ☞ ヒント 依頼館処理で状態復帰ができる処理一覧の表 | |
| 誤 | 返却 |
| 正 | 返送 |

- 表記ミスによる修正です。

| | |
|---|---|
| | 第3章 日米依頼館業務 3.21 レコードの状態を戻す (p. 49) 注意 転送処理後は[CALLBACK]不可能 |
| 誤 | システム処理 (OCLC 送信) 後は, [CALLBACK]により ILL 状態をひとつ前の状態に戻すことはできない。 |
| 正 | システム処理 (OCLC 送信) 後は, [CALLBACK]によりコマンド実行前の状態に戻すことはできない。 |

- システム処理(OCLC 送信)後は, [CALLBACK]により, ILL 状態, ISO 状態を含めてコマンド実行前の状態に戻すことはできません。

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------|--------|-----------------|
| | 第4章 日米受付館業務 4.3 資料を送送する (p. 60) ☞ヒント 転送データと入力項目 | | | | | | |
| 誤 | <table border="1"> <tr> <td>受付館住所<AADRS> 受付館担当<ASTAF></td> <td>2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan</td> <td>貸借のみ必須。転送対象。 英文に修正する (半角英数字のみ使用可)。</td> </tr> </table> | 受付館住所<AADRS> 受付館担当<ASTAF> | 2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan | 貸借のみ必須。転送対象。 英文に修正する (半角英数字のみ使用可)。 | | | |
| 受付館住所<AADRS> 受付館担当<ASTAF> | 2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan | 貸借のみ必須。転送対象。 英文に修正する (半角英数字のみ使用可)。 | | | | | |
| 正 | <table border="1"> <tr> <td>受付館住所<AADRS></td> <td>2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan</td> <td>貸借のみ必須。転送対象。 英文に修正する (半角英数字のみ使用可)。</td> </tr> <tr> <td>受付館担当<ASTAF></td> <td>ILL 担当</td> <td>貸借のみ必須。転送はされない。</td> </tr> </table> | 受付館住所<AADRS> | 2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan | 貸借のみ必須。転送対象。 英文に修正する (半角英数字のみ使用可)。 | 受付館担当<ASTAF> | ILL 担当 | 貸借のみ必須。転送はされない。 |
| 受付館住所<AADRS> | 2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan | 貸借のみ必須。転送対象。 英文に修正する (半角英数字のみ使用可)。 | | | | | |
| 受付館担当<ASTAF> | ILL 担当 | 貸借のみ必須。転送はされない。 | | | | | |

- 受付館担当<ASTAF>は転送対象ではありません。

| | |
|---|--|
| | 第5章 日韓依頼館業務 5.5 資料が到着する (p. 84) ☞ヒント 到着物に不備がある場合 |
| 誤 | 複写依頼で現物が到着した場合, システム上は, 複写物が到着した場合と同様の処理を行う。返送時には, レコードの操作は不要。この場合, 返却期限は, 最新の履歴に「DUE-DATE=***」と記録される。受領した現物は, 期限内に返却すること。 |
| 正 | 複写依頼で現物が到着した場合, システム上は, 複写物が到着した場合と同様の処理を行う。返送時には, レコードの操作は不要。受領した現物は, 期限内に返却すること。 |

- 日韓 ILL では, 返却期限に関するデータが記録されることはありません。

| | |
|---|--|
| | 第5章 日韓依頼館業務 5.5 資料が到着する (p. 84) ☞ヒント 到着物に不備がある場合 |
| 誤 | 貸借依頼で複写物が到着した場合, 状態が「処理中」のまま「発送」に遷移しない。ILL レコード ID を明記の上, 国立情報学研究所 NACSIS-ILL 担当(→p.4)に連絡する。 |
| 正 | 削除 |

- 現在, 日韓 ILL では貸借は行っていません。

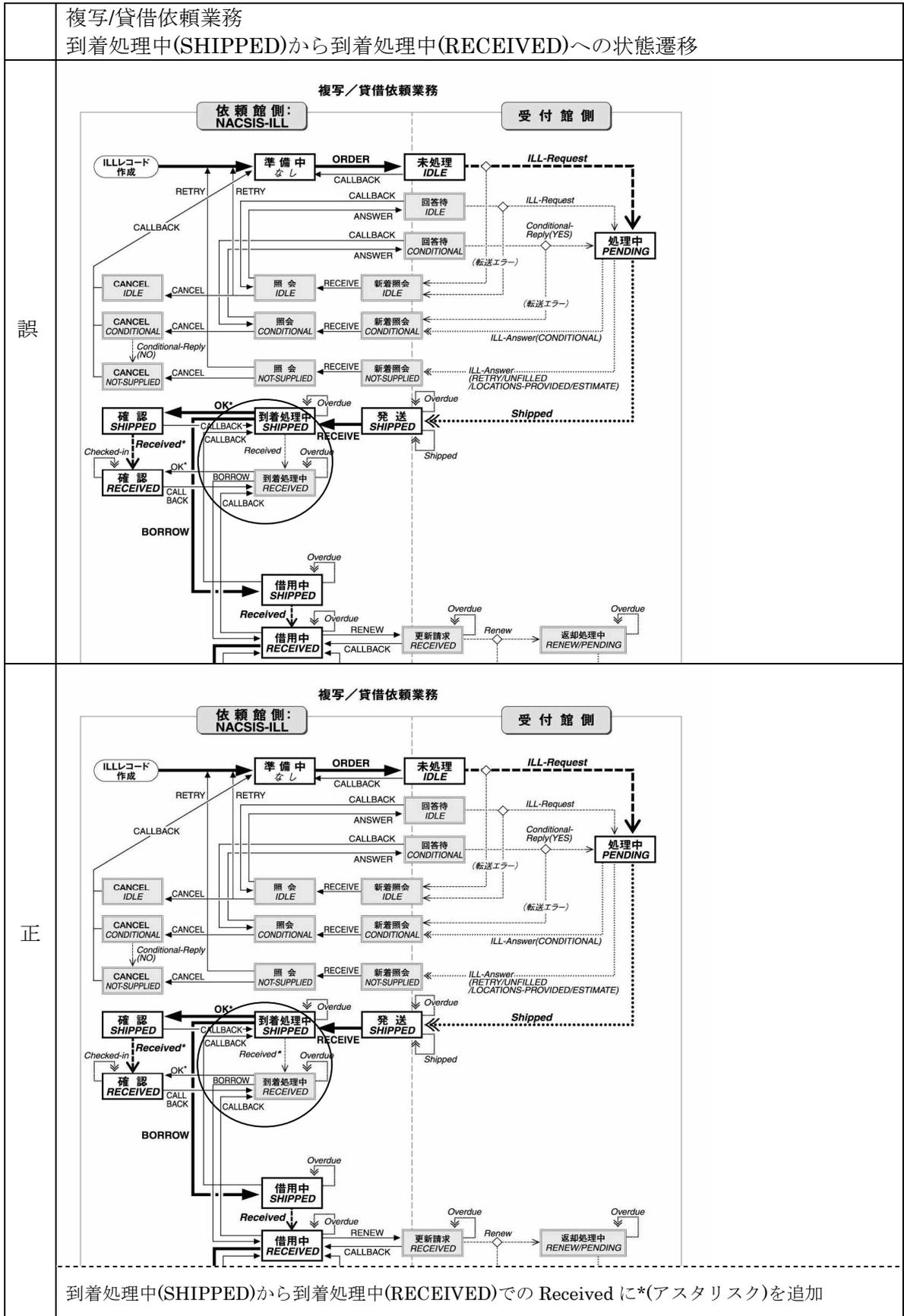
| | | | |
|---|--|---|-------------------|
| | 第6章 日韓受付館業務 6.3 資料を発送する (p. 105) ☞ ヒント 転送データと入力項目 | | |
| 誤 | 受付館住所<AADRS> 受付館担当<ATAF> | 2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan | 転送対象。 英文に修正する。 |
| 正 | 受付館住所<AADRS> | 2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan | 転送対象。 英文に修正する。 |

➤ 受付館担当<ASTAF>は転送対象ではありません。

| | | | |
|---|---|--|--|
| | Appendix 付録 貸借依頼ファイル更新定義 ISOSTAT のフィールド名(p. 136,139,142,145,157,160) | | |
| 誤 | ISO プロトコルコード状態 | | |
| 正 | ISO プロトコルレコード状態 | | |

➤ 表記ミスによる修正です。

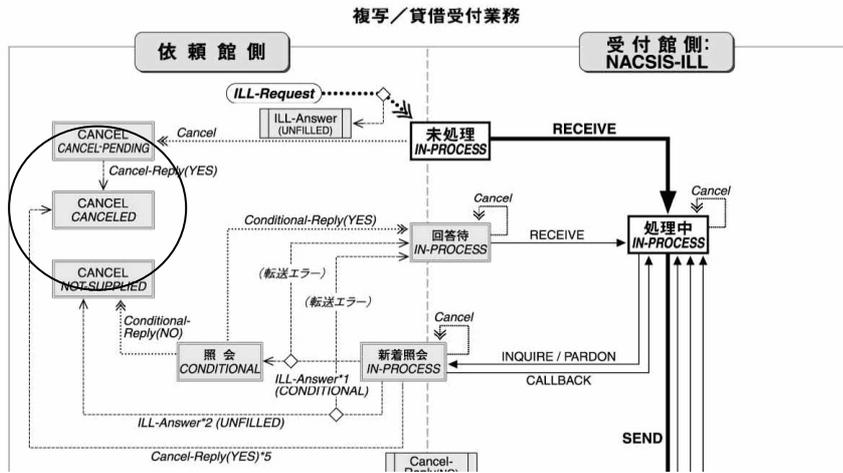
■ グローバル ILL(ISO ILL プロトコル対応)状態遷移図



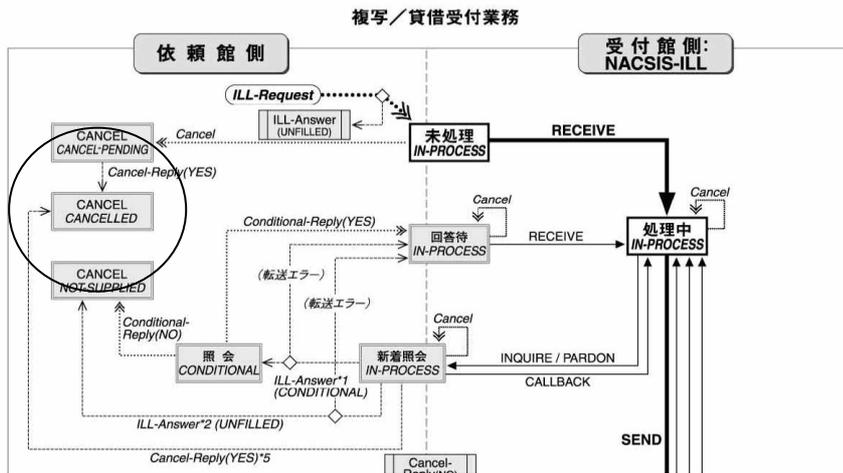
➤ 到着処理中(SHIPPED)から到着処理中(RECEIVED)への ReceivedAPDU 送信は複写業務の場合のみです。

複写/貸借受付業務
CANCEL(CANCELED)の表記

誤



正



ISO 状態の「CANCELED」の綴りを「CANCELED」に修正

➤ 表記ミスによる修正です。

(NACSIS-ILL 担当)

